

愛知スキー協通信 No.300

発行：新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会 2020年 2月1日

〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 TEL052-201-4801(Fax 共)

e-mail:aichiskikyokai@yahoo.co.jp

http://aichiskykyou.yukigesho.com/

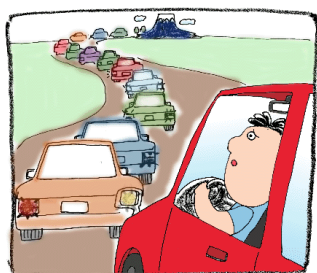


編集：ぶなの木スキークラブ

「雪と〇〇〇〇があなたを探しています」

文責 愛知スキー協理事長・技術部長兼任 寺田 康男

(みんなで、一つ上の指導員を目指そうプロジェクトメンバー)



雪が何時もの所に居ません！

探し出して、すべっていますか？
なんか、標高が2,000メートル以上の処にしかないように感じます。



今シーズンのあなたの組織強化目標は？

「そんな、目標決めなければならなかったかしら？」と、思いましたよね！
競い合う誰か目標になる人を設定して、公言してください。誰でもいいです。そこから今シーズンのスキー協の組織強化と技術力アップが始まると思います。



競い合う環境づくりは、スポーツであるいじょう技術を恒常的に向上・育てる為の畑づくりだと私は考えます。
あなたの感覚と対象設定が間違えで無ければ相手もライバル意識を持ってあなたを迎えてくれるはずです。

「教え合う」の簡単な第二歩目であり、正しいライバル設定は、立派な組織強化目標です。

雪上でしか掴めない感覚を自分のものにしよう！ (其の2 板を走らせ解放する極意)

雪上でしか出来ない事を意識して滑らないと、シーズンは直ぐに過ぎ去ります。
雪からの語りかけを聞き取ってください！

前回の、たわませたスキー板を、①正しい位置(回転のタイミング)で、②正しい姿勢(斜面に対しての体軸の傾き)で、③正しい方向(板の解放される向きと運動の仕方)へ、解放してやれば板が走るはず。同時に3点が一致しないと、走らないのです。
そして、①②③の順に難度が上がります。

板に遅れない感覚で、走ってくれるまでチャレンジしてください！

レベルアップスキー講習会報告

(寺田 康男 記)

「参加して良かったです。」の声を頂きました。総勢14名でしたが、ゲレンデでは、三重の懐かしいメンバー6~7人組みや深雪の小屋組とも、遭遇しました。雪不足で滑走可能なゲレンデは限定されましたが、雪質や天候、景観は最高でした。

安藤 (愛知)、寺田 (愛知)、米村 (愛知)、松本 (大阪)

佐藤 (岐阜)、多田 (岐阜)、永野 (岐阜)、渡辺 (岐阜)

加藤 (静岡)、神山 (静岡)、土屋 (静岡)、中野 (静岡)、長島 (静岡)、丹羽 (静岡)

・参加者個々の技術的な良いところを確認しました。

本人には、弱点も良いところも認識されていないことが、夜のミーティングでよく判りました。他人の見立ては、ほぼ同じで他人のあら探しと批判は結構適確に成ってきました。

・共通する課題の外傾姿勢・足裏切り替えによるターン操作・開き出しのときのそれぞれの脚の使い方運動の仕方について、雪上でしか出来ない実践が積みめました。



おめでとう、インターハイ・国体、全中出場

1月11日~13日まで朴の木平スキー場にて国体・インターハイ・全中予選会がありました。(ジュニオリは、2月末までの大会記録できめます) アルペンコース下部での短いコースでの大会です。スタート地点から大会コース以外に滑って降りられず、スノータクシーでクワット降り場に行き、スキーを抱えて下りのリフトで降ります。大会ができただけでも良かったということです。



1月11日、小中記録会は中止で国体予選が行われました。イエティからは、成人B長谷川康人さん・少年男子青山汰一介さんが出場しました。汰一介さんは5位で補欠でしたが、1名出場しない選手が出たので正式に選ばれました。おめでとう。しかし本番が雪不足で中止の可能性が危惧されています。

12日インターハイ予選・全中予選・小学生記録会GSが行われました。汰一介さん3位・加藤進君4位、加藤瑠璃さん15位・澤田藍雅君3位、横井太一君1位、鬼頭圭汰君4位でした。インターハイに汰一介さん、全中に進君が晴れて予選通過し代表に選ばれました。おめでとう。



13日は同SLが行われました。汰一介さん3位・進君4位、瑠璃さんDF・藍雅君2位、棚橋和奏さん4位、太一君2位、圭汰君5位でした。GS同様インターハイに汰一介さん、全中に進君が選ばれました。汰一介さん3年生で念願叶って初出場しかもダブルで。膝の調子が悪く、様子を見ながらの練習を重ねての出場、喜びも一塩でしょう。本当におめでとうございます。「イエティすごいぞ」の大会になりました。どの選手も頑張った大会でした。

山スキーリーダー3名誕生！！



合格したぶなの木の佐藤さん、藤田さん、片山さん

1月11日～13日、乗鞍高原スキー場で全国山スキー部主催の山スキーリーダー養成・検定・研修が開かれ、養成には愛知のぶなの木から3人、岐阜アспенから1名、東京から1名の計5名が参加し、同時に行われた検定会で全員が合格、山スキーリーダーとして認定されました。これからの活躍が期待されます。

養成・検定の講習の内容は1日目はスキー場で不整地滑走の練習とビーコンでの搜索講習、2日目はテント泊装備を背負って位ヶ原中腹まで登高し樹林帯の中にテントを設営。その場所で弱層テスト（積雪層の安全性テスト）の講習と埋没者を雪崩から掘り出す搬出訓練。テント泊で一夜を明かし、3日目はスキーで下りながら3人一組になりビーコン、プローブ、スコップで搜索と実践的な訓練でした。

藤田さん「私もゲレンデ内の決められたコースを滑るだけでは飽き足らず、山中を自分の足で登り自由に滑り降りる事ができる山スキー怪(界)へと迷い込んだ一人です。ただし、自由であるが故に危険も伴うのが山スキーであります、無事に帰宅する事が第一優先である事は言うまでもありません。今回の研修では事故発生時の対応をより実践的に学ぶ事が出来ました。例えば掘り出し訓練では、隊列の並び方や間隔、雪の掻き出し方に加えて講師のYさんが埋没者役となってプローブの当たり具合の感触まで体験させて頂きました、ありがとうございました。

今後も安全に留意して山スキーを楽しみ、愉しませ、どんどん仲間を増やせるリーダーを目指して行こうと考えています。」

佐藤さん「テント泊で山スキーに行ってみたくて以前から思っていました。山スキーリーダーの机上講習を受け、実際に山行に参加する事によってより理解が深まりました。弱層テストや埋没者の搜索など実践的な講習で自信ができました」

一緒に研修を受けた浅井「何度もこのような講習を受けて、『雪崩に遭わないために、雪崩に遭ったら』の訓練が必要だと思う」（文責：浅井）



弱層テスト
雪の層を1mくらい掘ってコンプレッションテストで安全性を調べる



埋没者の搜索
ビーコンで埋没者に近付いたらプローブ（ゾンデ棒）で人間かどうかの当たり具合を確認している所

第 22 回東海ブロックスノーフェスティバル速報

1月24日(金)夜~26日(日)、平湯温泉スキー場で開かれた第22回東海ブロックスノーフェスティバルは雪が少ない中、135名の参加で実施出来ました。参加者は愛知100名、静岡19名、岐阜12名、三重3名、兵庫2名。愛知ではイエティ関係46名、深雪関係20名、ぶなの木関係11名、ハダシ関係7名、直滑降7名、個人1名、一般8名でした。

また、スキー教室18名、ボード教室7名、ポール教室8名、おもしろ競技会6名、ネイチャースキー(乗鞍)7名、スノーシューは25日(乗鞍)13名、26日(上高地)18名、山スキーは25日(夫婦松)10名、26日(乗鞍)は雪のコンディションが悪く、中止になりました。

26日(日)の競技会はネットポールを使って実施し、84名が参加しました。



スキー教室



スノーシュー



ネイチャースキー

やぶはらポール合宿

参加者15名(愛知8名静岡4名岐阜2名三重1名)でした。

1月18日19日二日間ともよい天候でした。雪不足で各地苦労している中、思った以上のコンディションでした。どنگりコース上部でネトロンパイプを張って練習することができました。18日はSLで9時から1時間ポールを想定し、切り替えてカーピングの練習。10時からセット練習。午後三宅幸一さんに後を託し、澤田安と寺田理事長は、野麦峠スキー場へのあいさつ及び依頼、平湯スキー場下見に行きました。平湯スキー場は木にマットをつける等希望した安全対策も結構行ってくれていました。雪は少なくねじ込み部分半分程度でポールをまともに立てる状態ではありませんでした。どのような形でも実施する旨了承して頂き安心して戻りました。午後ネトロンで練習したようでした。19日は、コースが短いので中回転の感じでSL板での練習。9時からカーピング切り上げる練習をしてから10時セット12まで練習、宿に帰り昼食を食べながら撮ったビデオの視聴をして解散しました。

東海ブロック 野麦峠スキー場ポール合宿

①2/21(金)夜~23(日) 締切り2/6 ②3/13(金)夜~15(日) 締切り3/5

①②とも 宿泊(本部)「野麦の里」 参加費14,000円

申込先 愛知スキー協会 Tel/fax052-201-4801 又は澤田安利 090-2180-8644

東海ブロック競技会(第2戦)3/7(土)回転 3/8(日)大回転

会場 野麦峠スキー場トレーニングバーン 参加費4,000円 締切り2/18(火)

申込先 愛知スキー協会 fax052-201-4801 又は澤田安利 fax0569-48-6486

針ノ木岳 大滑降交流会

主催：全国スキー協山スキー部

主幹：愛知ぶなの木スキークラブ 滋賀ブラッファーズ s s c

日時：5月16日(土)~17日(日)

宿泊：ゲストハウス浮世絵 〒398-0001 長野県大町市平 2860-12 0261-85-2155

参加費：13,000円(1泊2食・救出基金・事務諸経費等)

締切り：4/25(土) 問合せ先：愛知 ぶなの木 経塚茂 090-2268-4682